

19 中部国際空港二本目滑走路の早期整備について

(国土交通省)

【内容】

- (1) 社会資本整備重点計画の見直しにおいて、「完全24時間化の早期実現」を位置づけること。
- (2) 中部国際空港の完全24時間化実現に向け、二本目滑走路の早期整備に必要な調査を行うこと。
- (3) 地域を挙げて取り組んでいる航空需要拡大に対し、国も全面的に支援すること。
- (4) 空港利用者の利便性向上のため、アクセスの充実に取り組むこと。

(背景)

中部国際空港は、開港以来、成田国際空港、関西国際空港と並ぶ国際拠点空港として、我が国の航空輸送の発展に大きく貢献している。

中部地域には、モノづくり産業を筆頭に、世界に誇れる産業力、経済力、文化力、地域力が蓄積している。この力を世界に向けて強力に発信するとともに、全世界からヒト・モノ・カネを呼び込むため、グローバルな交流を支える中部国際空港に、二本目滑走路を整備し、完全24時間化を早期に実現する必要がある。

このため、国が見直しを行っている「社会資本整備重点計画」に中部国際空港の「完全24時間化の早期実現」が位置づけられる必要がある。

併せて、地域と国内外とを直結する航空ネットワークの維持・充実も不可欠であることから、地域関係者が一丸となって需要拡大に取り組んでいるところである。

また、空港利用者の利便性向上に向けて、西知多道路の整備など、更なるアクセスの充実が必要である。

(参 考)

【中部国際空港】



【社会資本整備重点計画】

- ・ 現計画（平成 21 年 3 月 31 日閣議決定）での位置づけ
「中部空港は、地元関係者の努力による需要の拡大を図りつつ、将来に向けて、完全 24 時間化を検討し、フル活用ができるよう、地域と連携して空港機能の拡充に向けて努力する。」

【国の予算の推移】

平成 21 年度（調査費 2 0 百万円）

完全 24 時間化によるフル活用に向けた取り組みとして、国際競争力強化の観点からの需要の拡大等に向けた調査検討を実施。

平成 22 年度（調査費 1 6 百万円）

完全 24 時間化によるフル活用に向けた取り組みとして、国際競争力の強化の観点から、需要の拡大、人流・物流機能の充実等に向けた調査検討を実施。

平成 23 年度（調査費 未定）

戦略的フル活用に向けた取り組みとして、戦略的利用拡大に向けた調査検討を実施。

【航空需要拡大に向けた地域の取組状況】

愛 知 県	海外でエアポートセールス及び観光 P R セミナーを実施
中部国際空港 利用促進協議会	ファミトリップ（海外旅行事業者等の招聘事業）など、インバウンド需要の拡大事業の実施
	トラック共同輸送事業や輸出入貨物を増やした荷主・フォワーダーへの支援の実施
	新規就航促進事業の実施